

カスガマイシン・銅水和剤 カスミンボルドー	取扱メーカー： 北興，一農 原体メーカー： 北興，——
成分： カスガマイシン—塩酸塩〔抗生物質〕……………5.7% （カスガマイシンとして……………5.0%） 塩基性塩化銅〔銅〕……………75.6% （銅として……………45.0%） その他 PRTR 該当成分： ポリ（オキシエチレン）=ノニルフェニルエーテル〔PRTR・1種〕…1.5%	性状： 淡緑色水和性粉末63μm以下 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

●作用性の異なるカスガマイシン（カスミン）と塩基性塩化銅（ドイツボルドーA）の浸透効果と保護効果の組み合わせにより、相乗効果を発揮する。

●塩基性塩化銅の作用機作としては、水に不溶性の銅化合物を対象作物上に微粒子として固着させ、雨霧などの炭酸水及び植物や病原菌の分泌する有機酸によって徐々に分解され殺菌力の強い銅イオンを溶出する。この銅イオンが菌の細胞内に浸透して原形質膜を破壊したり、酵素活性を阻害することによって殺菌することで、優れた予防効果を示す。

●カスガマイシンは、植物への浸透移行性があり、糸状菌と細菌の両方に高い抗菌活性を有す。作用機作は蛋白合成阻害と考えられ、糸状菌に対しては菌糸の生育を抑制し、病斑の形成、伸展を阻害する。顕著な治療効果を示す。

●低い銅の濃度で相乗効果を期待できるので、銅の薬害が軽減される。

●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

〈きゅうり斑点細菌病〉

●発病始期に散布する。病勢を見ながら15～20日間隔で散布する。

〈てんさい褐斑病〉

●初発を見たらすぐに散布する。病勢を見ながら10～15日間隔で散布する。

●希釈倍数200倍（使用液量：10a当り25ℓ）で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の地上液剤散布装置を使用する。

〈トマト葉かび病〉

●発病始期に散布する。病勢を見ながら10～15日間隔で散布する。

【薬効・薬害等の注意】……………

●散布液調製後は速やかに散布する。

●うり類，レタス，非結球レタス，だいこんには下記の事項に注意する。

○炭酸カルシウム剤（クレフノン）の添加は薬害軽減に有効だが、収穫間際の添加はさける。

●アルカリ性薬剤，チオファネートメチル剤とは混用しない。

●ばらに使用する場合は、葉に汚れが残ることがあるので注意。

●ピーマンのうどんこ病防除に使用する場合には、初発生をみたら直ちに散布する。

●キウイフルーツに使用する場合は、使用時期を厳守する。

●適用作物（きゅうり，キャベツ，ブロッコリー，てんさい，かんぎつ，いんげんまめ，あずき，レタス，だいこん，びわ，もも，うり類，にんにく）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

●適用外作物（稲，核果類，れんこん，はくさい，かぼちゃ）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………

●魚類，甲殻類，藻類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時は注意。



【適用と使用方法】

作物名	適用病害名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	カスガマイシンを含 む農薬の総使用回数	銅を含む農薬 の総使用回数
かんきつ (みかんを除く)	かいよう病	1000 倍	200～ 700 ℓ	45 日前まで	5 回以内	散布	5 回以内	—
みかん				7 日前まで				
なし	黒星病			収穫後 (10月～11月)	2 回以内		2 回以内	
もも	せん孔細菌病 縮葉病	500 倍		開花前まで	3 回以内		3 回以内	
びわ	灰斑病 がんしゅ病	1000 倍		幼果期まで				
		500 倍			休眠期			
キウイフルーツ	かいよう病 花腐細菌病			発芽後叢生期 (新梢長約 10 cm) まで	4 回以内		4 回以内 (樹幹注入は 1 回以内)	
いんげんめめ	かさ枯病	1000 倍	100～ 300 ℓ	30 日前まで	3 回以内		3 回以内 (種子粉衣は 1 回以内)	
あずき	褐斑細菌病 茎腐細菌病							
きゅうり	斑点細菌病 うどんこ病 べと病			前日まで	5 回以内		5 回以内	
すいか	うどんこ病 褐斑細菌病 果実汚斑細菌病							
メロン	うどんこ病 斑点細菌病 果実汚斑細菌病			3 日前まで				
トマト	葉かび病 輪紋病 疫病 斑点細菌病 かいよう病 軟腐病			前日まで				
ピーマン	うどんこ病 斑点細菌病			収穫開始 14 日前まで				
とうがらし類	斑点病							
キャベツ	黒腐病 軟腐病 黒斑細菌病			7 日前まで	4 回以内		4 回以内	
ブロッコリー	黒腐病			21 日前まで				
だいこん	軟腐病 黒斑細菌病 ワッカ症			14 日前まで	3 回以内		3 回以内	
ねぎ	軟腐病				2 回以内		2 回以内	
たまねぎ					5 回以内		5 回以内	
ごぼう					3 回以内		3 回以内	
レタス	腐敗病			7 日前まで	4 回以内		4 回以内	
非結球レタス	斑点細菌病			21 日前まで				

作物名	適用病害名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	カスガマイシンを含 む農薬の総使用回数	銅を含む農薬 の総使用回数
な ば な	黒腐病	1000 倍	100 ～ 300 ℓ	14 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内	—
に ん に く	春腐病				5 回以内		5 回以内	
ば れ い し よ	軟腐病	500 ～ 800 倍		7 日前まで	3 回以内		4 回以内 (種いも浸漬 は 1 回以内、 植付後は 3 回以内)	
	疫病	800 倍						
て ん さ い	褐斑病	800 ～ 1000 倍		14 日前まで	5 回以内		5 回以内	
		200 倍	25 ℓ					
	斑点病 斑点細菌病	800 倍	100 ～ 300 ℓ	14 日前まで	2 回以内		2 回以内	
に ん じ ん	黒葉枯病 軟腐病 斑点細菌病	収穫開始 7 日前まで					3 回以内	
オ ク ラ	葉枯細菌病			21 日前まで				
メ キ ヤ ベ ツ	黒腐病	1000 倍		200 ～ 400 ℓ	摘採 30 日 前 ま だ		1 回	
茶	輪斑病 赤焼病 新梢枯死症 (輪斑病菌による)		100 ～ 300 ℓ	発病初期	6 回以内		6 回以内	
	褐色円星病 炭疽病							
ば ら	うどんこ病		100 ～ 180 ℓ	10 日前まで	2 回以内		2 回以内	
ほ お ず き	軟腐病 斑点細菌病							
ゆ り	軟腐病							
た ば こ	疫病							